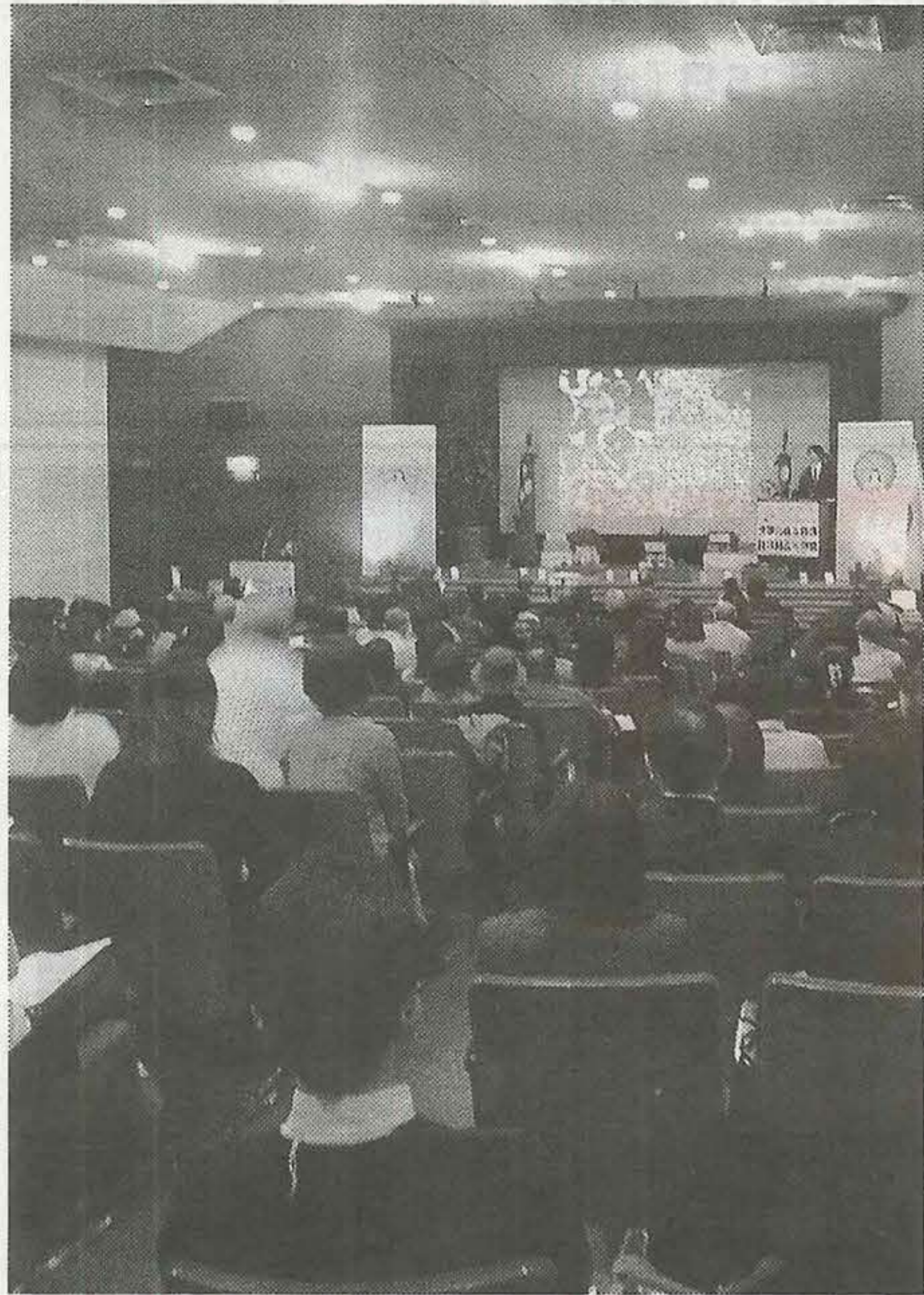


# 第6回日本の農業と食のシンポジウム

# 京都商工会議所に約二二〇名参加

## 中身の濃いシンポジウムに

日本豊受自然農・日本ホメオパシー医学協会主催



大勢の人が詰めかけたシンポジウム

### 「自然回帰」をテーマに

### 自然な農林業が最も重要

第6回日本の農業と食のシンポジウム(主催:日本豊受自然農、日本ホメオパシー医学協会)は4月2日午前10時から京都府京都市の京都商工会議所において「自然回帰 日本再生は自然な農林業と自然な心」をテーマに、今も未来も大切に「自然回帰」をテーマに約230名参加して盛大に開催した。



由井大会長

開会の挨拶に立った由井大会長は「農業を始め自然療法であるホメオパシー療法にて自身の潰瘍性大腸炎が治癒したことにより、自らホメオパシー

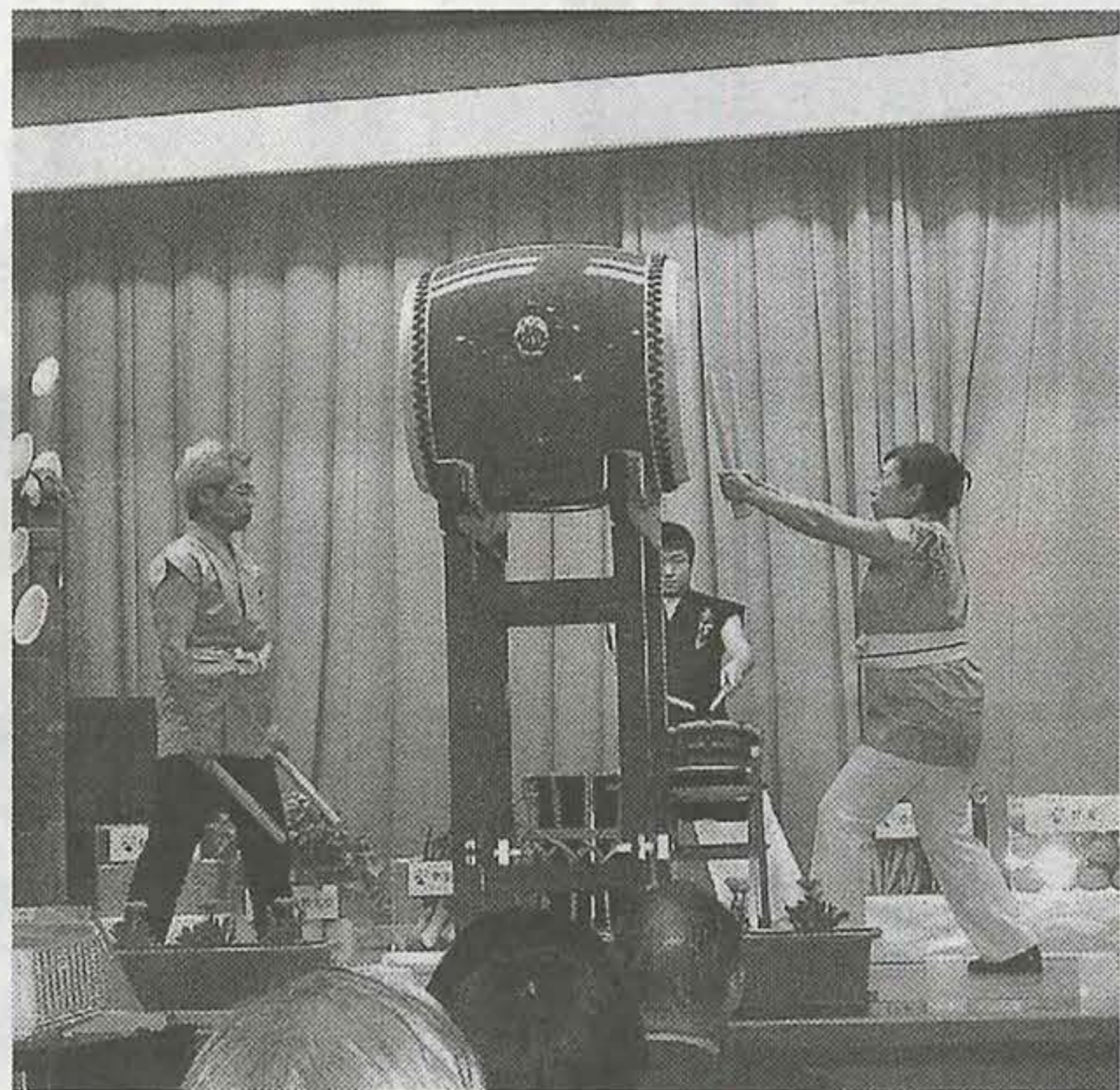
治療家となり、ホメオパシー治療を行う中、日

「6年前に函南町役場、農業振興公社、それからJA函南東部の片野組合の3団体の協力にて、設立できました。農業生産法人設立後も、利益追求よりも重要なこととして、安心・安全、そして栄養があることをモットーとし、食、農業、環境、林業、漁業が衰退する

型にやること。そして、化学合成の添加物を使わない安心・安全な加工食品をつくっていくことを改めて決意しました。」



シンポジウム冒頭に来賓の船津準二・山本幸三地方創生担当大臣特別顧問が紹介された



豊受の和太鼓を演奏する由井大会長

語り、「この地球は我々の代で終わるのではなく、未来をつくる子供たち

生理不順や生理痛などの月経の問題、便秘の問題、発汗の問題がたつた

助産院での出産は病院とは違い、薬や器具を用いない自然のお産。妊婦が健康であることが大前提であり、それだけに

恒例となっている由井大会長による陣太鼓に代わり、今大会は、由井大会長による豊受の和太鼓の見事な演奏からスタート。



中西 さやか氏

#### 事例発表

中西 さやか氏(ホメオパス、日本ホメオパシーセンター大阪なんば、美容家・エステティシャン)



西田 つや子氏

#### 産師

「健全な妊娠・出産・子育ては安心・安全な食事から」母から胎児や子へ「味の伝達」がされる

数多くの出産を見てきた経験から西田ホメオパスは、母親から子へ「味の伝達」がなされること



宮崎 日出子氏

#### 事例発表

宮崎 日出子氏(ホメオパス、日本ホメオパシーセンター熊本武蔵ヶ丘、宮崎助産院 助産師)

「熊本地震被災地から農、食、心と健康改善へのサポート」

蘇山がもたらす、自身や台風などの現象を自然の中の一つとして、体感してきたものであったこと、そして、そういった歴史のなかで、この度、大地震となり多くの被災者がでることとなった2016年4月14日に起こった熊本地震に接して、地震直後より自立支援に向けて支援の変遷をまとめ発表した。